

経営比較分析表（令和元年度決算）

石川県加賀市 加賀市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
66,350	26,629	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

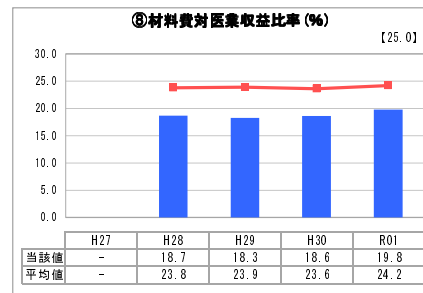
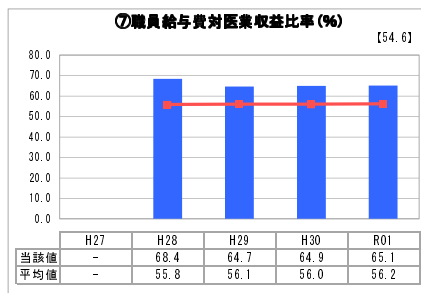
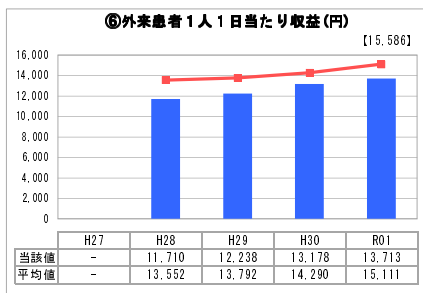
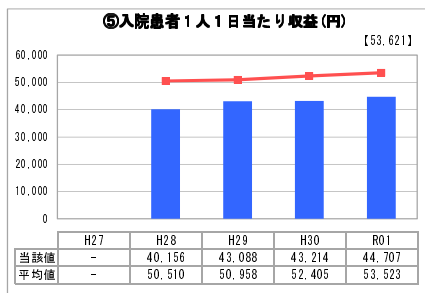
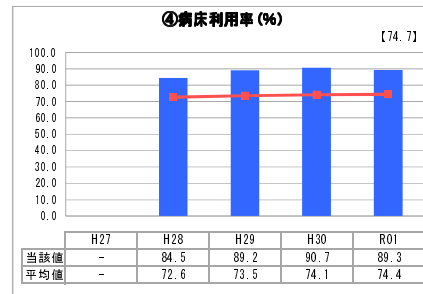
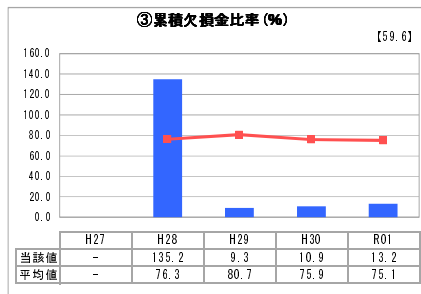
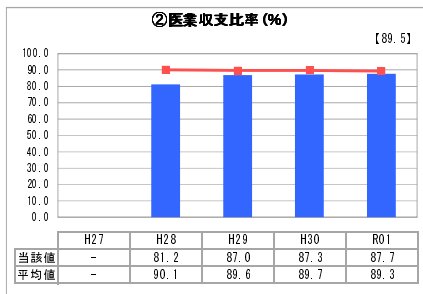
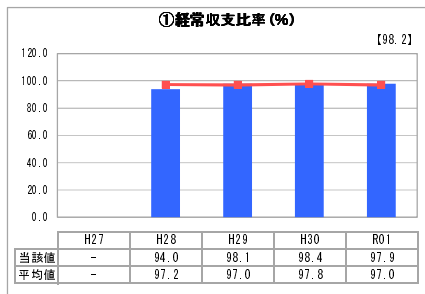
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

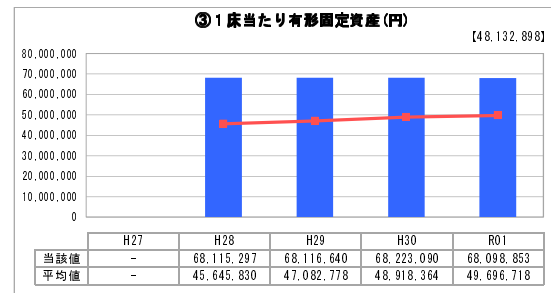
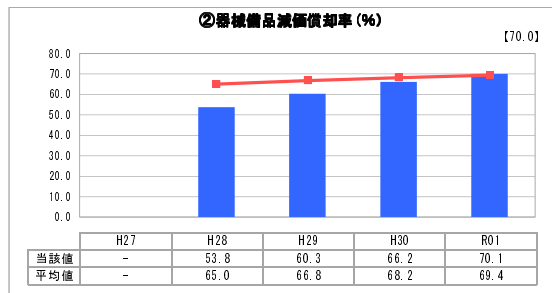
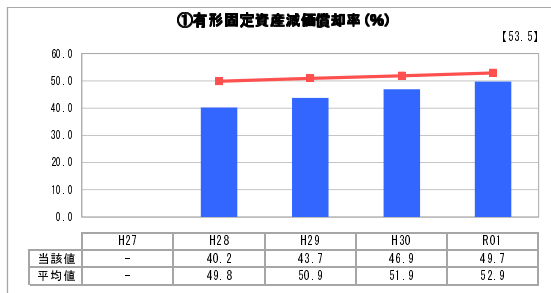
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

西暦・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成28年度	-	-

I 地域において担っている役割

- ・市内唯一の急性期病院として救急搬送を断らない体制の維持・継続
- ・医療従事者育成環境の充実
- ・周産期の受入促進（市内唯一の分娩施設）
- ・地域包括ケアシステム構築に寄与する在宅復帰支援の充実と地域連携の推進（地域連携センターつむぎ、訪問看護ステーションりんく）
- ・がん治療体制の充実
- ・認知症高齢者の増加に向け行政と連携した活動の促進

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度において新たに上位の基準、加算等取得したことに加え、入院・外来診療単価の増加、手術件数の増加、高い病床利用率の維持などにより、入院・外来ともに収益が増加している。しかしながら、入院・外来ともに1人1日あたり収益は類似病院平均値に比して低く、職員給与比率にも影響している。今後は更なる診療単価向上、費用削減に努め、より一層の収支バランスを取る事が課題である。

2. 老朽化の状況について

平成28年4月に2つの病院を統合し、移転、新築開院したため、有形固定資産減価償却率が平均値を下回っている。また、旧2病院分の資産を有しているため、1床当たり有形固定資産が平均値を上回っているが、将来的な減価償却費の増大につながるため、長期的な投資計画に基づいて適切な更新を図る必要がある。

全体総括

当院の経営状況は、各指標ともほぼ横ばいという状況である。診療単価も改善傾向にあるとはいえ、類似病院平均値には及ばず、一層の工夫が必要であり、併せて費用の縮小にも務めなければならない。老朽化に関して、現時点の減価償却費としては顕在化していないが、将来的な費用増大が懸念されるので、計画に基づき適切な投資を行っている。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。